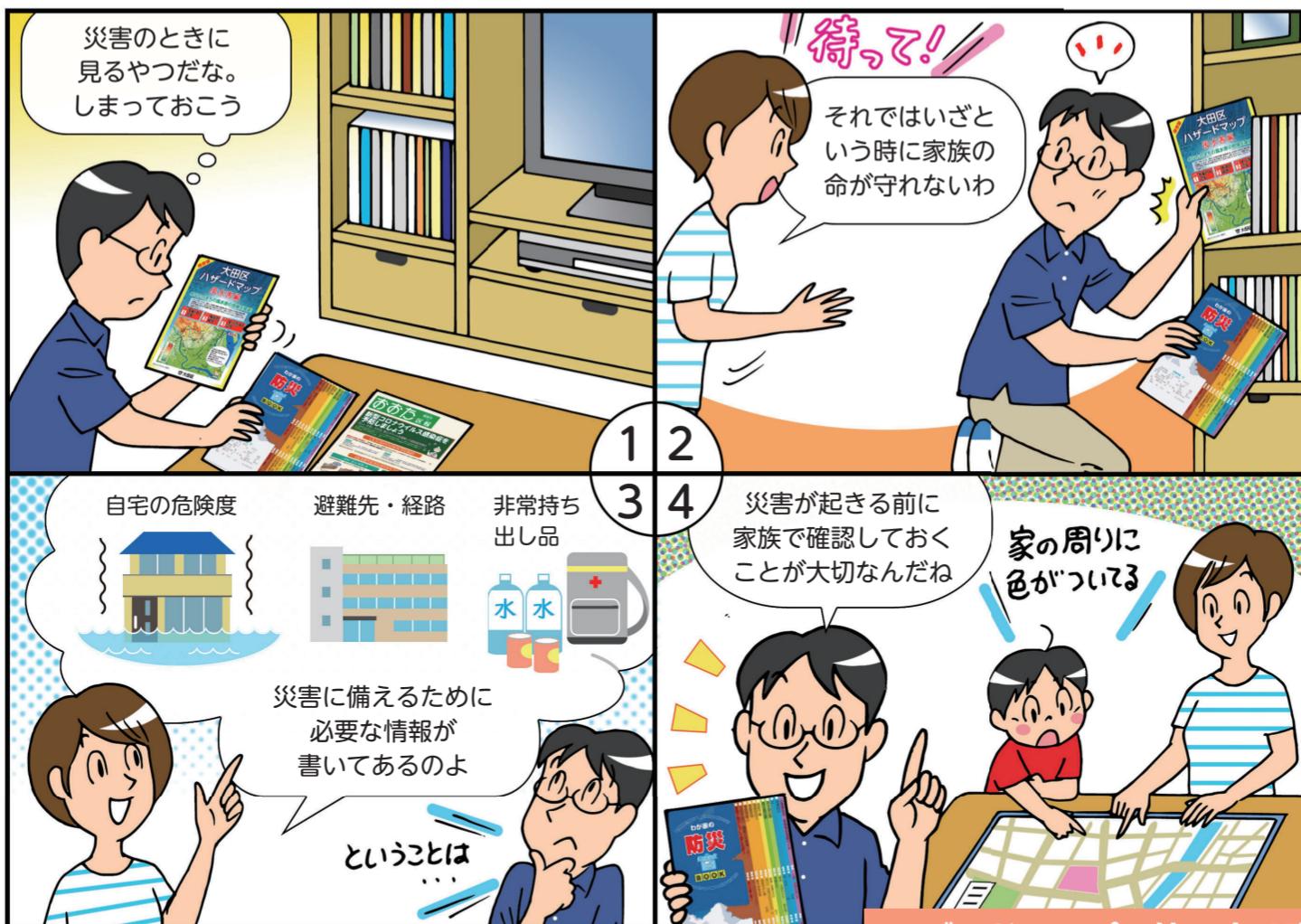




自分や家族の命を守るために…

災害を知る 防災を考える



ハザードマップの使い方は裏面へ

やってみよう！ 災害対策理解度セルフチェック

「知っているつもり」や「できているつもり」になっていないか、確認してみましょう。

① 自宅の災害リスクを知っている？

A もちろん知っている B 調べたことがない

自宅の危険度を知ることが災害への備えの第一歩です。危険度によって必要な対策は変わってきます。

チェック → ハザードマップ (風水害編・震災編)

② 地震が起きたら、最初にすることは？

A 身の安全を確保 B 火の元確認

いざというときに落ち着いて行動するには、正しい知識を身につけておくことが大切です。

チェック → わが家の防災チェックBOOK No.5

③ 家具類の転倒防止対策はできている？

A できている B そのうちするつもりだ

阪神・淡路大震災では、家具などの下敷きになって亡くなった方が多くいました。教訓をもとに対策しましょう。

チェック → わが家の防災チェックBOOK No.3

④ 「避難場所」と「避難所」の違いは？

A 目的が違う B 特に違いはない

避難場所と避難所は違います。その違いを理解して適切な避難行動などに近づけましょう。

チェック → ハザードマップ (震災編)
わが家の防災チェックBOOK No.7

⑤ 家庭内に備蓄はできている？

A 3日分の備蓄がある B 避難所にあるだろう

避難所は食料が限られています。自宅が安全な場合は、自宅で生活が続けられるように準備しましょう。

チェック → わが家の防災チェックBOOK No.4

Bと回答した項目は、一緒に配布しているハザードマップやわが家の防災チェックBOOKを確認してください。もちろん、Aと回答した項目も復習してくださいね。備えあれば憂いなしです。

